

構造-演習問題1

「得点できたかどうか」「○か×か」ではなく、問題文を読んだ時に、「その関連の知識が、頭の中にどう収納されているのか、フォーカスポイントはどこか」を簡単に**余白に描き出して**みてください

ウラ模試1

[No.7] 地震力に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 許容応力度等計算に用いる荷重及び外力の組合せにおいては、地震力と風圧力が同時に作用することは想定していない。
2. 地表に設置された高さ 4m を超える広告塔に作用する地震力については一般に、水平震度を $0.5Z$ (Z は地震地域係数) 以上として計算する。
3. 地震時においては、応答加速度が上層ほど大きくなることを考慮して、一般に、地震層せん断力係数 C_i を上層ほど大きくする。
4. 建築物の地上部分におけるある層に作用する地震層せん断力は、その層の固定荷重と積載荷重との和に、その層の地震層せん断力係数 C_i を乗じて算出する。

ウラ模試1

[No.8] 建築基準法における荷重及び外力に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 倉庫業を営む倉庫の床の積載荷重は、実況に応じて計算した数値が $3,900\text{N/m}^2$ 未満の場合においても、 $3,900\text{N/m}^2$ としなければならない。
2. 垂直積雪量が 1m を超える場合、雪下ろしの実況に応じて垂直積雪量を 1m まで減らして積雪荷重を計算した建築物については、その出入口、主要な居室又はその他の見やすい場所に、その軽減の実況その他必要な事項を表示しなければならない。
3. 風圧力における平均風速の高さ方向の分布を表す係数 E_r は、建築物の高さが同じ場合、一般に、「都市計画区域外の極めて平坦で障害物がない区域」より「都市計画区域内の都市化が極めて著しい区域」のほうが大きい。
4. 閉鎖型の建築物における風力係数は、一般に、その建築物の外圧係数と内圧係数との差により算定する。